

Webページ作成演習(HTML,CSS,JavaScript)

■内容 クラスで自己紹介のページを作る。各自、自分の趣味、進路などのページを作り、前後の出席番号の人のページにリンクを貼る。適宜、班で話し合っ、ワークシートを使って、情報を収集、整理をして作業を進める。

■配布ファイルの HTML ファイルの名前を自分の HRNO に変える。(例:1100.htm, 2101.htm)

拡張子(.htm)が見えない設定になっている場合は「.htm」は入力しない。

■HTML ファイルを右クリックして、「プログラムから開く」―「メモ帳」で開いて編集する。

メモ帳が出てこない場合は、「既定のプログラムの選択」やその中の「そのほかのアプリ」などから「メモ帳」を探して、「メモ帳」で開く。わからない場合は、メモ帳を起動してから、ウィンドウの中に HTML ファイルをドラッグして開く。

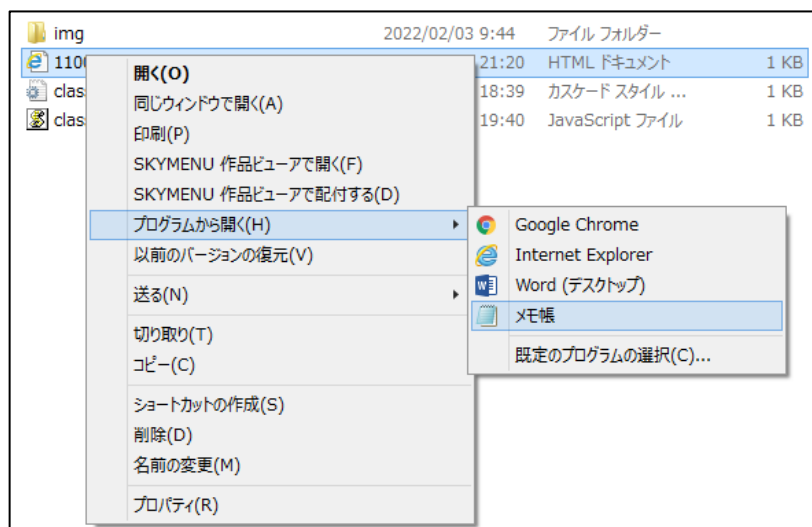


図1 メモ帳で開く

※編集した結果を表示させたいときは、上図の状態、Google Chrome や Internet Explorer などのブラウザを選択する。(あるいはブラウザを起動させて、ウィンドウの中にドラッグする)

すでにブラウザに HTML ファイルを読み込ませて表示させている場合、編集した内容に更新させる必要があるので「F5」キーを押す。ブラウザが古い場合、動画のファイルが見られないといったことがあるので、できるだけ新しいブラウザで開くようにする。



図2-1 ブラウザで表示

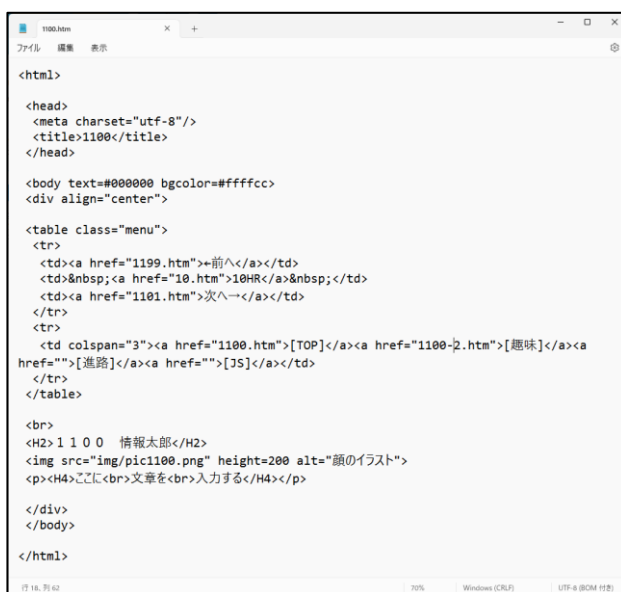


図2-2 メモ帳で表示

■メモ帳でHTMLファイルを編集する。

①自分の HRNO.html(例:1114.htm)をメモ帳で開く

文字コードは UTF-8 だと宣言しているので、このファイルを別の文字コードで保存すると文字化けが起こる

自分の HRNO に変える。
この文字列がタイトルバーに表示される

2 行 3 列の表を作って、2 行目は colspan="3"で3つのセルを結合している

←前へ	11HR	次へ→
[TOP]	[趣味]	[進路][JS]

```

<html>
<head>
  <meta charset="utf-8">
  <title>1114</title>
</head>

<body text=#000000 bgcolor=#ffffcc>
<div align="center">

<table class="menu">
  <tr>
    <td><a href="1113.htm">←前へ</a></td>
    <td><a href="11.htm">11HR</a></td>
    <td><a href="1115.htm">次へ→</a></td>
  </tr>
  <tr>
    <td colspan="3"><a href="1114.htm">[TOP]</a><a href="1114-2.htm">
[趣味]</a><a href="">[進路]</a><a href="">[JS]</a></td>
  </tr>
</table>

<br>
<h2>1 1 1 4 川崎紀彦</h2>

<p><h4>俺は、風になる！</h4></p>

</div>
</body>
</html>

```

① <title> タグに挟まれた 1100 を自分の HRNO にする。

② <td>←前へ</td> の 1140 を自分の前の出席番号にする
※1番初めの番号の生徒は教員のページ(ここでは 1100.htm)にリンクを張る

③ 10HRの 10 を自分のクラス(ここでは11)にする。

④ <td>次へ→</td> の 1101 を自分の次の出席番号にする
※1番最後の番号の生徒は教員のページ(ここでは 1100.htm)にリンクを張る

⑤ 1100 を自分の HRNO にする

⑥ <h2>1100 情報太郎</h2> の1100 情報太郎を自分の HRNO 氏名にする

⑦ の 1100 を自分の HRNO にする

⑧ <p><h4>ここに
文章を
入力する</h4></p> の<h4>と</h4>の間にひとこと入力する。改行するときは
を入れる

■コピー元のファイルを開いて編集していたり、ファイル名を変えずに編集したときは、[ファイル]－[名前を付けて保存]で、自分の HRNO.htm として保存する。自分の HRNO.htm ファイルを編集している場合は、[ファイル]－[上書き保存]をする。

編集した HTML ファイルをブラウザで表示させ、間違っていればメモ帳で直す。

■背景を編集する。

```
<body text=#000000 bgcolor=#ffffcc>
```

FFFF00 黄色→FFFFCC 明るい黄色

```
<body text=#000000 bgcolor=#ccffff>
```

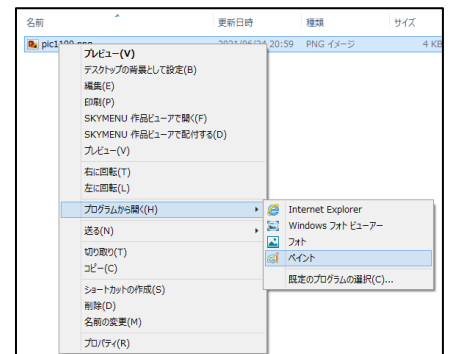
00FFFF シアン→CCFFFF 明るいシアン

text は文字の色、bgcolor は背景の色であり、#ffffcc は赤 FF、緑 FF、青 CC の明るさで表示させているということである。それぞれの色を 00～FF(10進数で表すと0～255)までの範囲で設定し、好きな色に色を変える。色がイメージできなかつたら、ブラウザでカラーコードを調べて設定する。

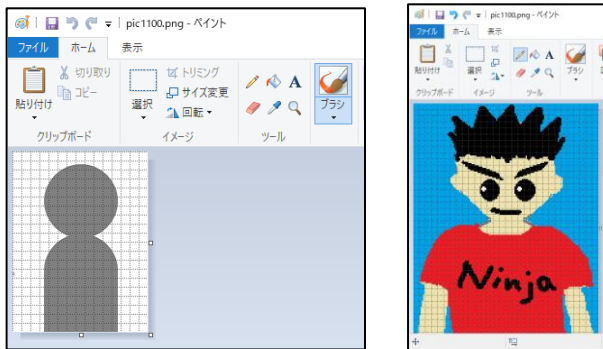


■画像を編集する

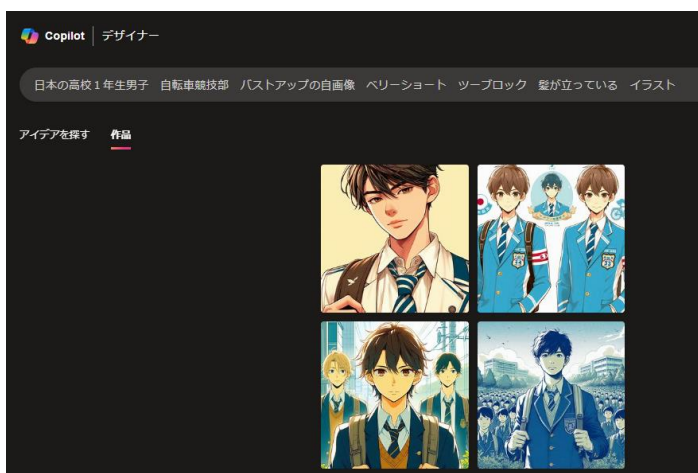
① img フォルダの pic1100.png ファイルを右クリックして[プログラムから開く]から、ペイントを指定する。



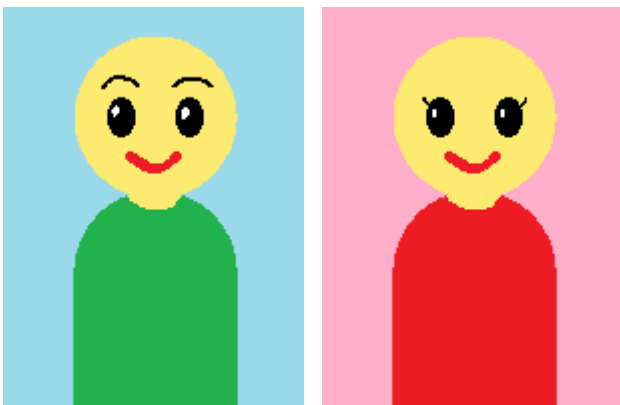
- ② ペンツールや塗りつぶしツールなどを使って自分の絵を描く。自分の写真が PNG 形式で用意できるならそれでもよい。※目と口があり、服を着せる。



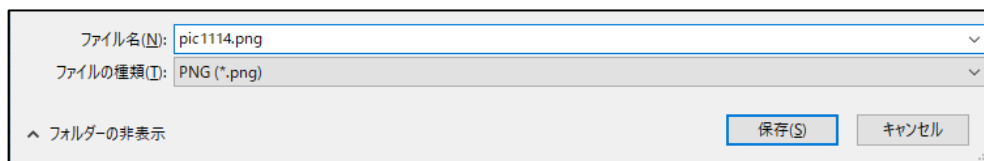
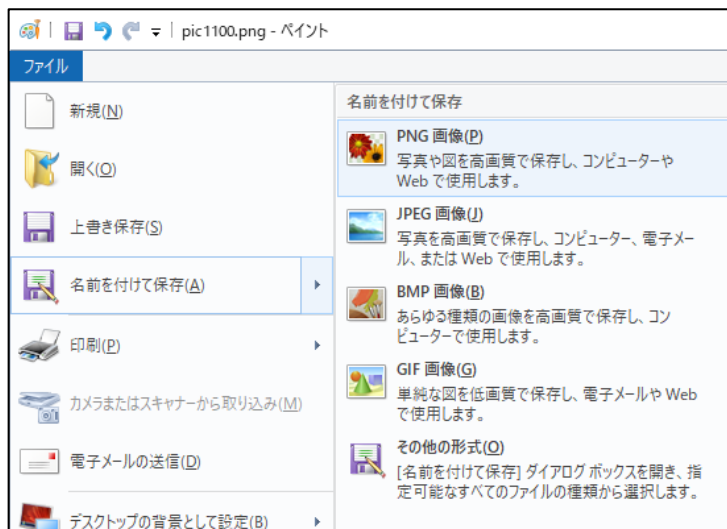
下記のように、生成系 AI を参考にして書いてもよい。※AI が生成した画像をそのままコピーしたものは、自分で表現したものではないので、評価は低い。



どうにもならないときは、下記のイラストを真似して、配色を変える。



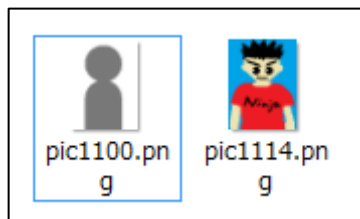
- ③ ファイル名を付けて保存—PNG 画像から、自分の HRNO.png で保存する
(注意)JPEG 形式にすると保存するたびに劣化してノイズが目立つようになる。



img フォルダの中に元のファイルと編集したファイルが保存される

絵がおかしくなった場合は pic1100.png からやり直せるが、必要なければ消す。

※上記のように元のファイルを編集して、後で名前を付けて保存をするではなく、はじめに元のファイルのコピーを作っておいて、そのコピーしたファイルの名前を書き換えてペイントで編集してもよい。

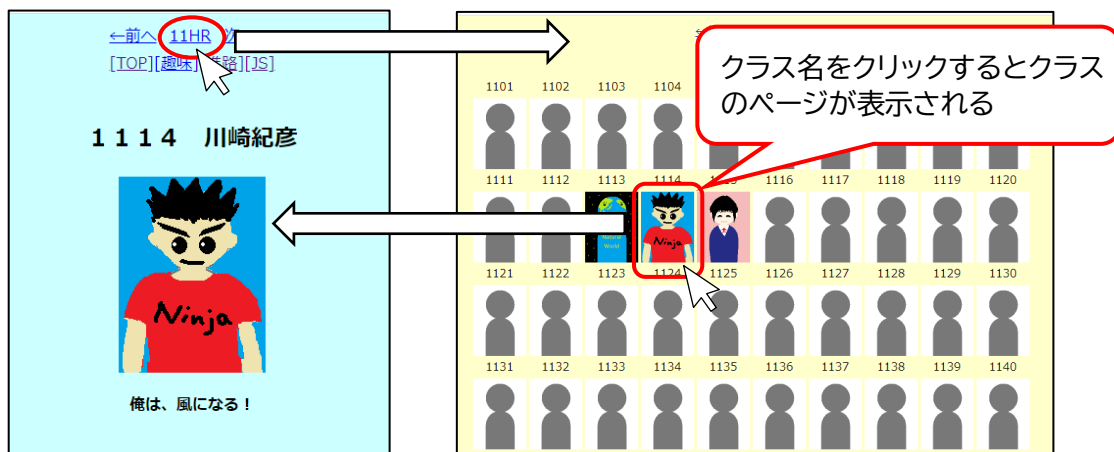


④ 自分のホームページに画像が表示されるか確認する



- ⑤ ファイルを指定されたフォルダにコピーし、ホームページ上部の前後の人のページへのリンクが正しく貼られているか、クラスのページの自分の写真をクリックして行き来できるか確認する。
- ※リンクのコードが正しく入力できていても、前後の人のファイルがコピーされていなかったり、ファイルの名前が間違っていたりするとリンク切れになる。

■クラスとのリンク



■前後のリンク



リンク切れの場合は、下記のリンク先を確認する。

```
<table>
<tr>
  <td><a href="1113.htm">←前へ</td>
  <td><a href="11.htm">11HR</a></td>
  <td><a href="1115.htm">次へ→</td>
<tr>
  <td colspan="3"><a href="1114.htm">[TOP]
```

(参考)ホームページ作成 完成例

<http://onju.html.xdomain.jp/kyouzai2/hp/1114.htm>

■2ページ目を作る

2ページ目に自分の趣味や好きなもののページを作る。

1114.htm ファイルをコピーして貼り付け、そのファイルのファイル名を 1114-2.htm とする。

※「-」の前後に半角スペースが入り込むことがあるので注意する。

1114-2.htm をメモ帳で開いて編集する。

①2枚目のタイトルを「[HRNO]-2」に替える

```
<head>
  <meta charset="utf-8">
  <title>1114-2</title>
</head>
```

②2枚目の背景色を1枚目の背景色と違う色にする。

```
<body text=#000000 bgcolor=#ffccff>
```



```
<body text=#000000 bgcolor=#ccffff>
```

③画像の参照先を pic[HRNO]-2.png に変え、代替テキストを画像を説明する言葉に変える

```

```

④<h4>タグの一言を趣味に合わせた言葉に変更する。改行するときは
を入れる。

```
<p><h4>ロードバイクと共に、<br>世界中を駆け巡る！</h4></p>
```

```
<html>

<head>
  <meta charset="utf-8">
  <title>1114-2</title>
</head>

<body text=#000000 bgcolor=#ccffff>
<div align="center">

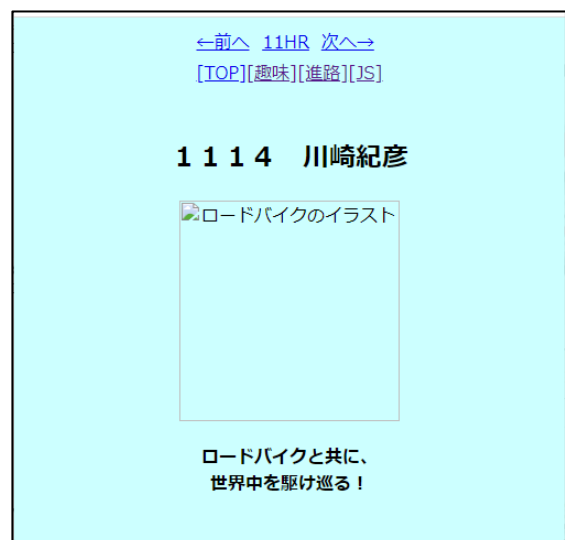
<table>
  <tr>
    <td><a href="1113.htm">←前へ</td>
    <td><a href="11.htm">11HR</td>
    <td><a href="1115.htm">次へ→</td>
  <tr>
    <td colspan="3"><a href="1114.htm">[TOP]</a><a href="1114-2.htm">
[趣味]</a><a href="">[進路]</a><a href="">[JS]</a></td>
  </tr>
</table>

<br>
<h2>1 1 1 4 川崎紀彦</h2>

<p><h4>ロードバイクと共に、<br>世界中を駆け巡る！</h4></p>

</div>
</body>

</html>
```



■画像を準備する

- ・検索エンジンやブラウザのアドレスバー等で2ページ目に表示させる画像を探すキーワード(ここでは)を入れ(ここでは、「ロードバイク(スペース)イラスト」と入力)



- ・画像を探し



- ・その画像があるページを表示させ

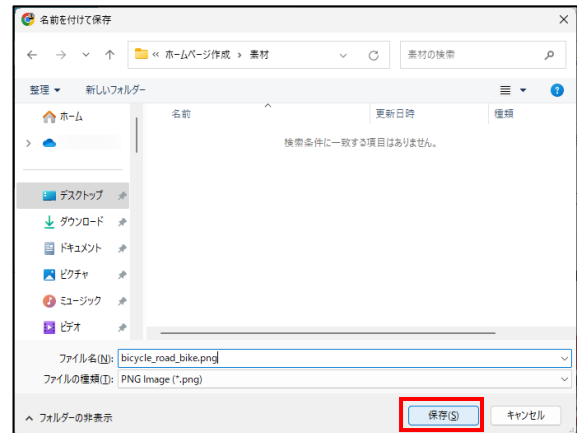
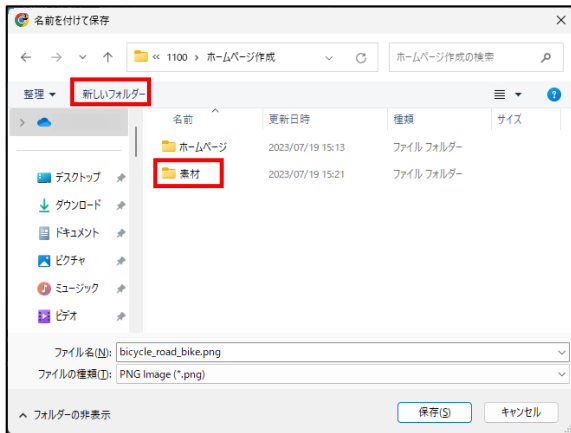


- ・必要があれば、画像をもう一度クリックして

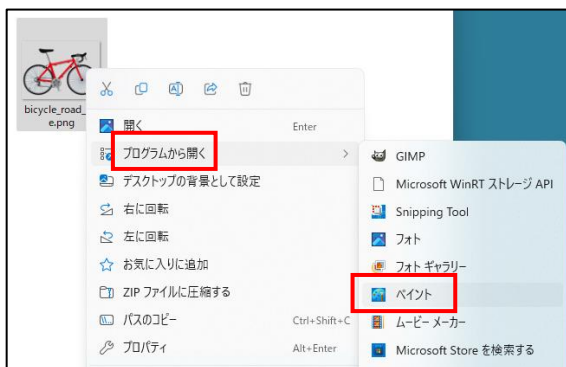


・右クリックして、「名前を付けて画像を保存」を選択する。

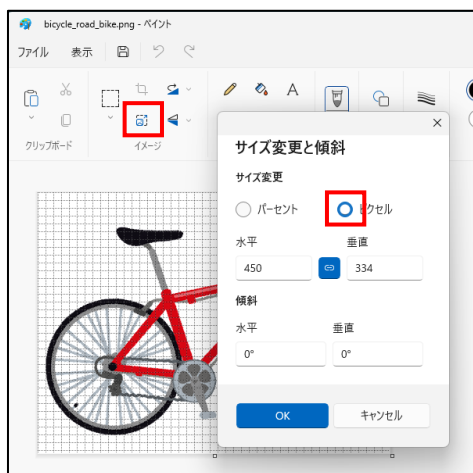
・保存先が「ピクチャ」フォルダなどになっている場合、左側のリストから自分のフォルダを探し、ホームページが保存されているフォルダと同じ場所に「素材」という名前のフォルダを作って、その中に入れて保存する。



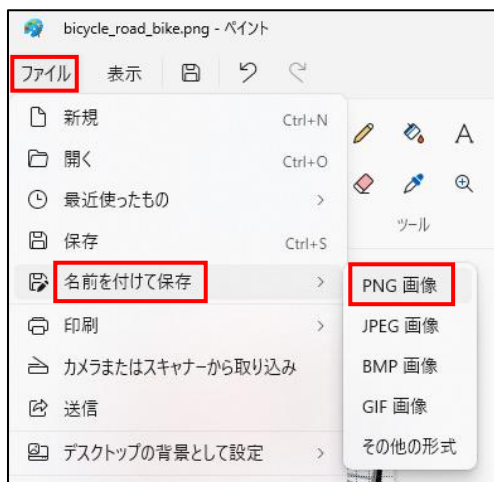
・素材フォルダに保存したイラストファイルを右クリックして、プログラムから開く、ペイントで開く。



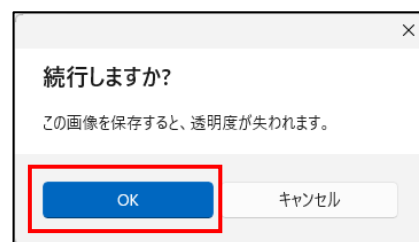
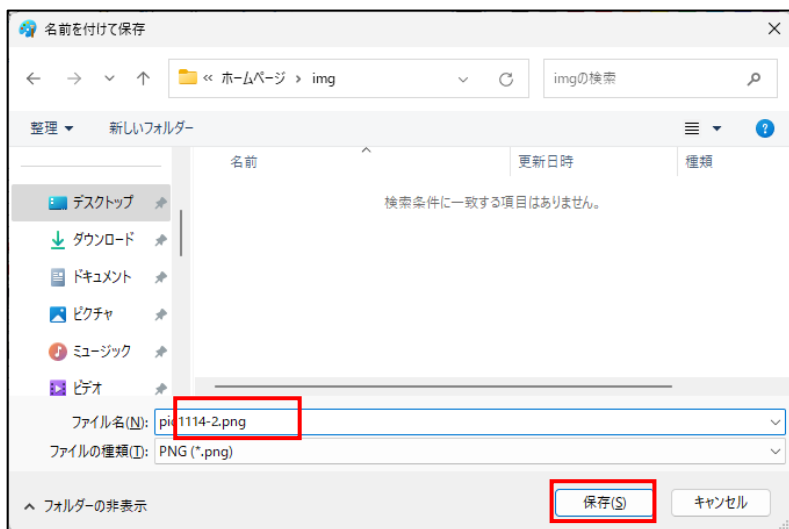
・イメージグループの「サイズ変更と傾斜」を選択して、ピクセルを選択し、縦横比を維持するが選択されていることを確認して、垂直を 200 にして、OK ボタンを押す



・ファイル、名前を付けて保存、PNG 画像を選択する



・ホームページフォルダの中にある img フォルダに入り、ファイル名を「pic[HRNO]-2.png」と HTML ファイルの img タグで指定した名前(例:pic1114-2.png)を入力して、保存ボタンを押し、透明度が失われるというメッセージボックスが出たら OK ボタンを押す。なお、ファイル形式が JPEG ファイルにするときは、ファイルの拡張子が「○○.jpg」となるので、HTML の方のファイル名の拡張子をファイルに合わせて「pic[HRNO]-2.jpg」書き直す必要があるので、授業で扱う画像ファイル形式は png 形式に統一する。



・2ページ目を表示させると



(参考)Windows の「ペイント」で画像のサイズ・解像度を変更する方法
<https://omoide-photo.jp/blog/windows-paint-resize/>

■1ページ目と2ページ目の画像ファイルにリンクを貼り、切り替わるようにする。

・1ページ目の画像のリンク

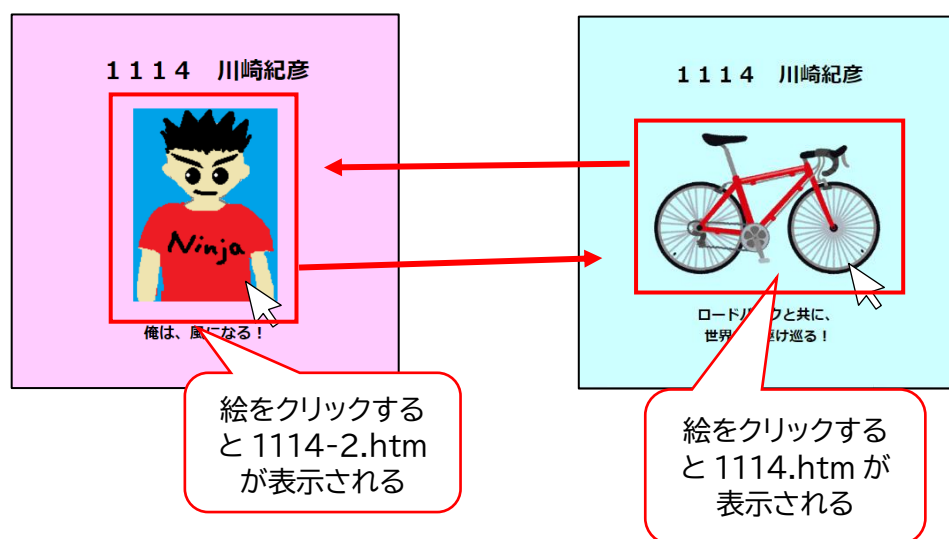
1114.htm ファイルの img タグの前後の<a>タグを入れて、リンク先を2ページ目のファイル名にする

```
<a href="1114-2.htm"></a>
```

・2ページ目の画像のリンク

1114-2. htm ファイルの img タグの前後の<a>タグ入れて、リンク先を1ページ目のファイル名にする

```
<a href="1114.htm"></a>
```



■以下の課題を、ブラウザで調べて、自分で解決しなさい。

【課題①】[HRNO]-2.htm ファイルを書き替え、下図のようにおすすめの Web ページにリンクを貼りなさい。
リンクを貼ったら、リンク先のページを新しいタブで開く方法を探し、修正しなさい。



【課題②】HTML ファイルを編集して■おすすめページ■の文字の上に、水平線を、色、幅、太さを設定して引きなさい。水平線のタグの付け方、設定の仕方は自分で調べなさい。

【課題③】背景に画像を表示させる方法を、検索エンジンを使って見つけ、背景に画像を表示させなさい。
背景画像のファイル名は pic[HRNO]-2bg.png とすること
背景素材はダウンロードしたものを使ってもよいが、
ペイントでオリジナルの素材を作った方が評価は高い。
ファイルサイズは幅、高さともに 100px 以下にして、繰り返し表示させて模様にする。

【課題④】文字の色や太さの設定を部分的に変えなさい。

【課題⑤】Web ページに動画を埋め込む方法を調べ、[HRNO]-2.htm ファイルを書き替えて、おすすめページの下に動画を埋め込み、動画の表示サイズを調整しなさい。

【課題⑥】課題②～④の書式の設定を CSS で設定しなさい。
CSS のファイル名は[HRNO]-2.css とすること。

■相互評価

クラスメイトのページを見て、相互評価表に各観点の評価を付けて、感想やアドバイスを入力して提出する。自分の感想は学習の記録ファイルに入力すること。

■1ページ目に CSS を組み込んで、クラス全員の背景をまとめて変更できるようにする。

```
<html>
<head>
  <link rel="stylesheet" type="text/css" href="classhp.css">
  <title>1114</title>
</head>
<body>
  <div align="center">
```

- ① <head>と</head>の間に <link rel="stylesheet" type="text/css" href="classhp.css"> と入力する
- ② <body text=#000000 bgcolor=#ffffcc>を<body>にする。※そのままにしても CSS の設定が優先される

※ classhp.css に下記のように記述されていて、文字色が#000000 で黒になり、背景色が#ffccff でマゼンタを明るくした色になる。CSS ファイルがない場合は、クラスの代表がクラスのフォルダの中に CSS ファイルを入れる。

```
body{
  color: #000000;
  background-color:#ffccff;
  text-align: center; /* 中央揃え */
}
```



CSS 側の「text-align:center;」で中央揃えされるので HTML の<div align="center">は消す
※表はこれでは中央揃えされないので注意

クラスのフォルダに CSS ファイルを入れると、CSS ファイルを参照している全員のページの背景の色が CSS で設定した色になる。

なお、HTML の<div align=center>を消すと、表に対しての中央揃えの指示がなくなるので、上のメニューが左揃えになる。CSS で設定した中央揃えは、文字に対しての設定なので、表のセルの中では中央揃えになっている。



■部分的に背景を変える

①HTML ファイルの上部のリンクの部分に div タグを設定して、class 属性を追加して値を header にする。メインコンテンツの部分に div タグを設定して、class 属性を追加して値を main にする。(div タグではなく、header タグ、main タグをつけてもできる) 上の表(table タグ)には最初から class 属性を追加している。

```
<body>
<div align="center">
  <div class="header">
    <table class="menu">
      <tr>
        <td><a href="1113.htm">←前へ</a></td>
        <td>&nbsp;<a href="11.htm"></td>
        <td><a href="1115.htm">次へ</td>
      </tr>
      <tr>
        <td colspan="3"><a href="1114.htm">[TOP]</a><a href="1114-2.htm">[趣味]</a><a href="">[進路]</a><a href="">[JS]</a></td>
      </tr>
    </table>
  </div>
  <div class="main">
    <br>
    <H2>1 1 1 4 川崎紀彦</H2>
    <a href="1114-2.htm">
      <H4>俺は、風
  </div>
</div>
</body>
```

HTML で中央揃えにするための、<div align="center"> は CSS 側で中央揃えにするので消す。
これを書き換えて<div class="header">にしてもよい

メニューの表の部分に「header」というクラス名を付けて、CSS で指定できるようにする。

名前や画像がある場所に「main」というクラス名を付けて、CSS で指定できるようにする。

名前の前に間隔を空けるために入れた
を消す場合は、CSS 側で main の上部に間隔をよりあける。
(注意)そのまま消した場合、header の下にもぐりこむ可能性がある

<div align="center">の終了タグを消す。これを<div class="main">の終了タグとして使ってもよい。

②CSS ファイルで中央揃えにする方法をブラウザで調べて記述する。ヘッダーの表が左揃えになる場合は、「CSS 表中央揃え」と表をキーワードに入れてもう一度調べて記述する。

※CSS の記述例

```
body{
  color: #000000;
  background-color: #ffccff;
  text-align: center; /* 中央揃え */
}

.header{
  background-color: #ffe0ff;
  width: 100%;
  height: 50px;
  position: fixed; /* 画面から見た位置で固定 */
  top: 0;
  padding-top: 5px; /* 余白 */
  left: 0;
  right: 0;
  z-index: 999; /* 重ね合わせレベル */
}
```

```
.menu{
  line-height: 1.0; /* テキストの行間 */
  margin: auto; /* 表の中央揃え */
}

.main{
  padding-top: 50px; /* 余白 */
}
```

セレクタ{プロパティ:[値]}

の形で記述する

(例) body{color:red;}
セレクタが要素(タグ)だったらそのまま書き、
クラスだったら前に「. (ドット)」、
ID だったら前に「#」を入れる

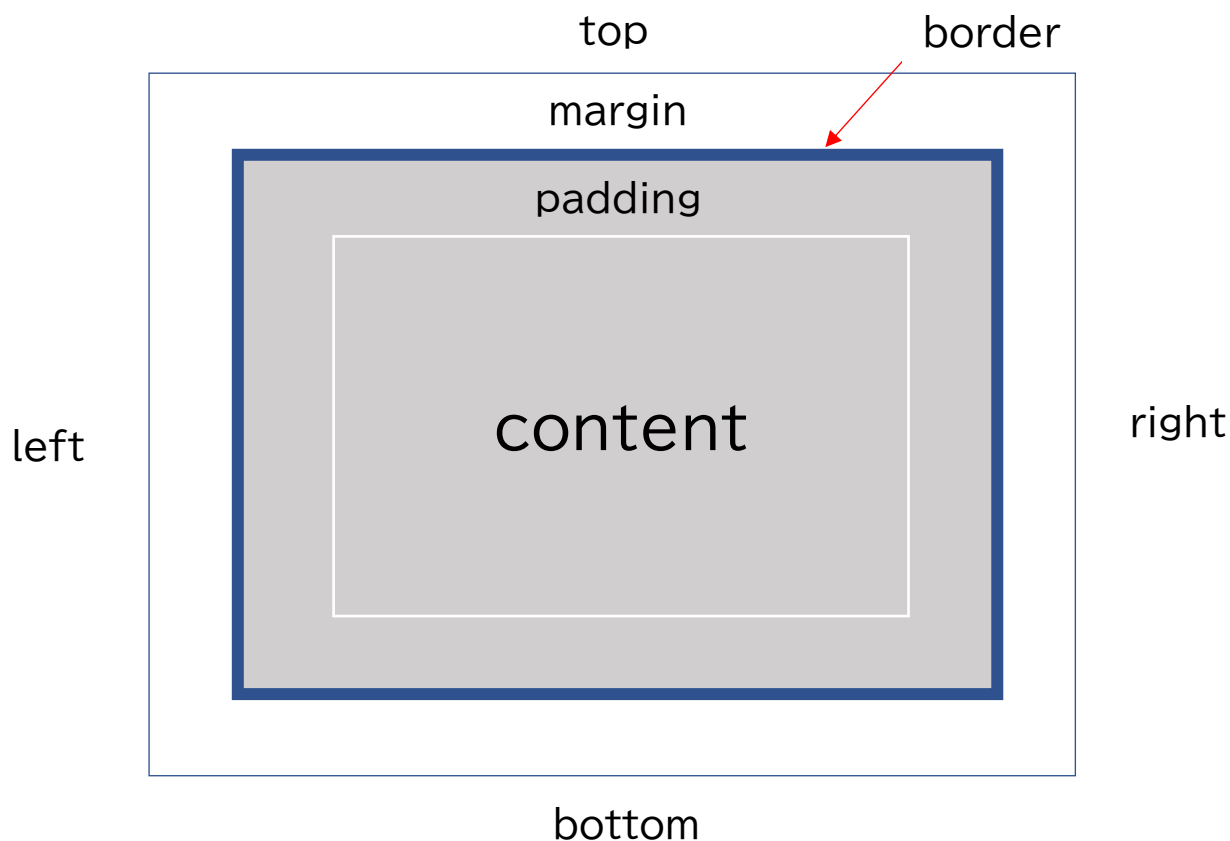
【完成例】



(参考) CSS 総まとめ! 基礎知識や書き方、実践的な使い方まで
<https://kumaweb-d.com/blog/overall-summary-of-css/>

●CSS ボックスについて

要素は、ボックスと呼ばれる領域を生成する。ボックスは、内容(content),パディング(padding),ボーダー(border),マージン(margin)から成り立つ。



初期値のボックスモデルでは、width で 200px を指定した場合、content が 200px なので、左右の margin の合計が 10px、左右の border の合計が 10px、margin の合計が 10px だったときは、全体の幅が 230px になる。

なお、box-sizing プロパティの値を「border-box」にした場合は、width で指定した値は、content に加えて padding、border が含まれるようになり、width で 200px を指定した場合、margin の合計が 10px だったときは、全体の幅は 210px になる。

※ 内容以外に content 以外の余計な領域を作りにたくないならば、

```
html,body,div,p{  
  margin:0;  
  padding:0;  
  border:0;  
}
```

などと CSS に記述して、それぞれの値を0にしておく

参考 HTML リファレンス(<https://www.htmq.com/csskihon/301.shtml>)

CSS のボックスモデルー初心者もできる！プログラミング基礎講座【第 15 回】 [コアース・デザインのブログ](#)

■JavaScript を組み込み、画像を大きくさせる。

1114.htm ファイルの head タグに js ファイルを読み込ませるタグをつける

```
<head>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="classhp.css">
<script type="text/javascript" src="classhp.js"></script>
<title>1114</title>
</head>
```

img タグに id を入れ、マウスが画像の上にある時、画像の外にある時の画像のサイズを入力する

```
</a>
```

なお、classhp.js は

```
function zoom( $this, height, width ) {
$this.style.height = height + 'px';
$this.style.width = width + 'px';
}
```

classhp.css は

```
#imgsize1{
    height:200px;
    width:150px;
}
```

としている。

HTML ファイルをブラウザに表示させると、id 名 imgsize1 の画像は CSS ファイルに記述されている高さ 200、幅 150px で表示される。画像の上にマウスポインタをのせたとき、関数を介して、高さと幅が onmouseover に記述された値(高さ 220,幅 165)に変わり、画像が少し大きく表示される。画像の外に出たとき、onmouseout に記述された値(高さ 200,幅 150)に変わり、元の大きさに戻る。



【課題】 画像を縦横それぞれ2倍の大きさにしたり、横だけ2倍にしないさい。

ここでは、マウスカーソルが画像の上に乗ったときに「onmouseover」、マウスカーソルが画像から離れた時に「onmouseout」というイベントハンドラーと呼ばれるものを使い、関数を呼び出して画像の大きさを変えた。イベントハンドラーは次のようなものもある。

■イベントハンドラーの種類

onclick	クリックされたとき
ondblclick	ダブルクリックされたとき
onmousemove	マウスカーソルが動いたとき
onmouseover	マウスカーソルがオブジェクトの上に乗ったとき
onmouseout	マウスカーソルがオブジェクトから離れたとき
onmousedown	マウスボタンが押されたとき
onmouseup	マウスボタンが離されたとき
onkeydown	キーが押されたとき
onkeypress	キーがしばらく押されたとき
onkeyup	キーが離されたとき
onload	ページや画像の読み込みが完了したとき
oninput	テキストボックスなどに入力されたとき

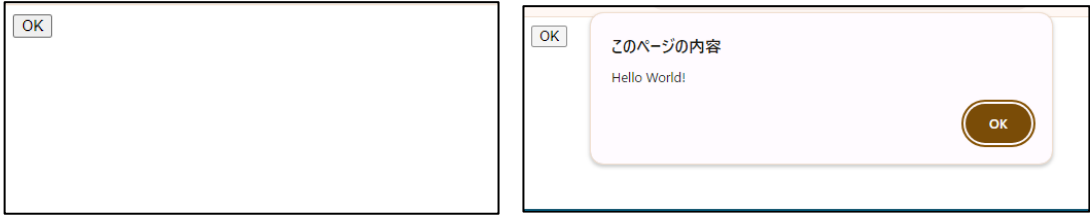
(参考) とほほの WWW 入門 イベントハンドラ
<https://www.tohoho-web.com/js/onevent.htm>

※イベントの処理の例

HTMLの<body>の中に
<input type="button" value="OK"
onclick="world()">
と書き込み、
JavaScript ファイルやHTMLの<script>タグの中に
function world(){
 alert("Hellow World!")
}

```
<html>  
  <head>  
    <meta charset="utf-8"/>  
    <title>1000</title>  
  </head>  
  <body>  
    <input type="button" value="OK" onclick="world()">  
    <script>  
      function world(){  
        alert("Hello World!");  
      }  
    </script>  
  </body>  
</html>
```

と入力して HTML ファイルを開くと、
にブラウザに OK ボタンが表示され、それをクリックすると、メッセージボックスに「Hellow World!」と表示される。



【課題⑦】 3ページ目の進路ページを作りなさい。

●手順

- ① 自分の進路について Word ファイル(.docx)にまとめる。ソフトは問わない。
※事前に課題等でまとめている場合はそのファイルを使う。
※HTML や CSS の設定を書き加えてもよい。CSS はファイル名を[HRNO]-3.css とし、cssフォルダに置く。
- ② ①を参考して、あらかじめ用意された HTML ファイルを使い、ホームページの3ページ目を作る。
(ファイル名:HRNO-3.htm)
Word ファイルの書き出し(エクスポート)を使って HTML ファイルを生成しない。
- ③ 指示された場所にコピーまたはアップロードして提出し、クラスや自分のフォルダのホームページフォルダにコピーする。

<3 ページ目のレイアウト>

前後の番号のページ、クラスのページへのリンク

1, 2, 3ページへのリンク

HRNO 氏名

タイトル(自分で考える)

画像(ファイル名:picHRNO-3.png、高さ 200px)

小見出しと本文 3～5セット程度

※表を必ず1つ挿入すること

表の中には何らかの数値のデータが入るようにして、本文でその表のデータについて触れる

※表のデータの引用元はページのどこかに明示する

※1, 2, 3ページへのリンクは全ページに設定する

※画像をクリックすると、

1ページ→2ページ→3ページ→1ページ→

と切り替わるようにリンクを張る

【参考】 3ページ目

<http://onju.html.xdomain.jp/kyouzai/hp/1113-3.htm>

<http://onju.html.xdomain.jp/kyouzai/hp/1114-3.htm>

<http://onju.html.xdomain.jp/kyouzai/hp/1115-3.htm>

<http://onju.html.xdomain.jp/kyouzai/hp/1100-3.htm>

【3ページ目 課題例】

div 中央揃え

←前へ 11HR 次へ→
[TOP][趣味][進路][Js]

番号、氏名 H2	1114 川崎紀彦
----------	-----------

タイトル H3

海外で活躍できる日本語教師

背景 水色

img/pic1114.png

div 中央揃えはここまで

小見出し:H4

段落:P

■海外で活躍したい
今、自転車競技をやっている、いつかは世界規模の自転車競技の大会に参加して、いずれは競技とは関係なく、世界中を自転車で走ってみたいと思っています。自転車競技はヨーロッパが強く、フランスとかイタリアとかが有名なので、まずはそのどちらか、あるいは両方で働けそうな職業に就こうと思っていて、自分ができそうな職業を調べたところ、今、海外では日本語教師が不足しているらしく、自分でもやれそうな仕事だと思ったので、日本語教師になるための情報を収集しています。

■仕事内容
日本語教師は「国語」を教える教師ではなく、外国語として「日本語」を教える語学の教師で

本文はそのまま

【3ページ目 完成例】

←前へ 11HR 次へ→
[TOP][趣味][進路][Js]

1114 川崎紀彦

海外で活躍できる日本語教師



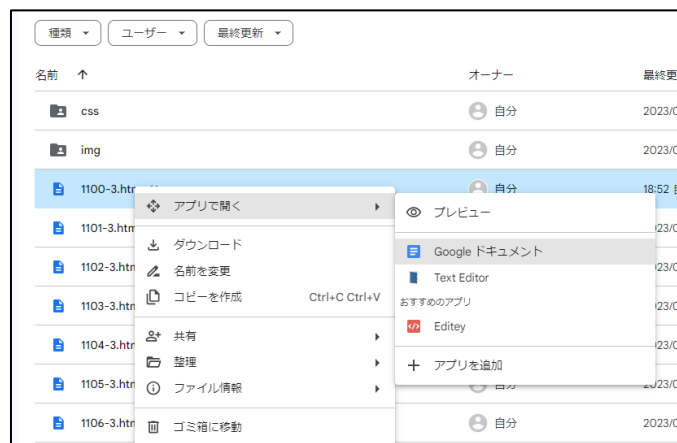
■海外で活躍したい
今、自転車競技をやっている、いつかは世界規模の自転車競技の大会に参加して、いずれは競技とは関係なく、世界中を自転車で走ってみたいと思っています。自転車競技はヨーロッパが強く、フランスとかイタリアとかが有名なので、まずはそのどちらか、あるいは両方で働けそうな職業に就こうと思っていて、自分ができそうな職業を調べたところ、今、海外では日本語教師が不足しているらしく、自分でもやれそうな仕事だと思ったので、日本語教師になるための情報を収集しています。

■仕事内容
日本語教師は「国語」を教える教師ではなく、外国語として「日本語」を教える語学の教師です。外国人に日本語を教えるためには、文法、音声等の専門的な知識や指導の技術が必要です。学習者の日本語学習の目的に合った、教育内容・指導法を考える必要があります。

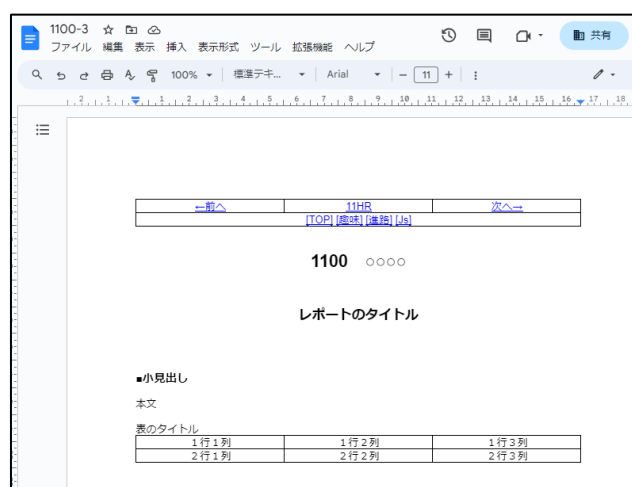
■需要が増している仕事
表1のように日本で暮らす外国人が増加してきていて、日本語教師の活躍の場はますます広がっていま

●Google ドライブにある HTML ファイルをワープロソフトで開いて、ブラウザ上で Word 形式のファイルを生成する方法

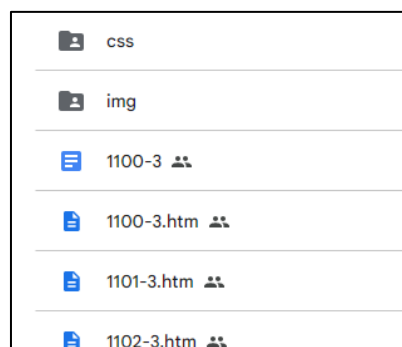
- ・事前に Word ファイルを用意していない場合、HTML ファイルから Word ファイルを作り出すことができる。
- ・まず、GoogleClassroom のリンクなどから、3 ページ目のファイルが置いてある GoogleDrive のフォルダにアクセスし、自分の HTML ファイルの上で右クリックする。
- ・「アプリで開く」を選択して、ワープロソフトを選択する。ここでは「Google ドキュメント」で開いているが、Word 形式で書き出せるソフトを追加して開いてもよい。



Google ドキュメントで表示した状態



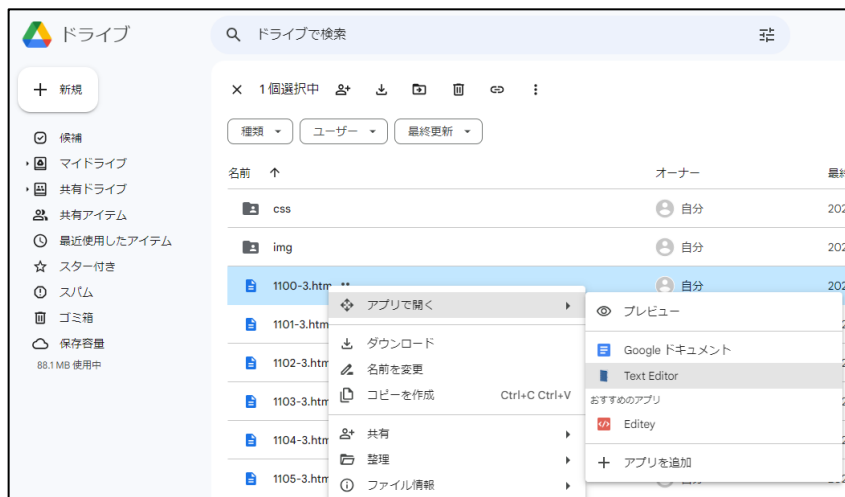
編集すると自動的にファイルが Word 形式で保存される



●Google ドライブにある HTML ファイルをブラウザ上で編集する方法

GoogleClassroom のリンクなどから、3ページ目のファイルが置いてある GoogleDrive のフォルダにアクセスし、自分の HTML ファイルの上で右クリックする。

「アプリで開く」を選択して、文字を編集するアプリを選択する。ここでは「Text Editor」で開く。「Edeitey」でもよい。



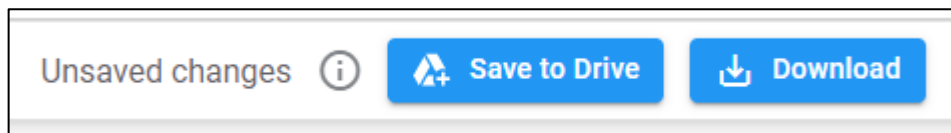
Text Editor で表示した状態

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3 <head>
4 <meta charset="utf-8">
5 <title>1100-3</title>
6 </head>
7 <body text=#000000 bgcolor=#ffffff>
8 <div align="center">
9 <table>
10 <tr>
11 <td><a href="1138-3.htm">←前へ</a></td>
12 <td><a href="11.htm">11HR</a></td>
13 <td><a href="1101-3.htm">次へ→</a></td>
14 </tr>
15 <tr><td colspan="3"><a href="1100.htm">[TOP]</a>
16 <a href="1100-2.htm">[趣味]</a>
17 <a href="1100-3.htm">[進路]</a>
18 <a href="1100-4.htm">[Js]</a></td>
19 </tr></table>
20 <br>
21 <H2>1100 ○○○○</h2>
22 <p><H3>レポートのタイトル</H3></p>
23 <a href="1100.htm">
25 <p>
26 <H4>■小見出し</H4>
27 本文
28 </p>
```

ブラウザ上でテキストを編集する

```
19 </tr></table>
20 <br>
21 <H2>1100 情報太郎</h2>
22 <p><H3>私が名古屋工業大学を選んだ理由</H3></p>
23 <a href="1100.htm"></a>
24 </div>
25 <p>
26 <H4>■理由 1 近くにトヨタがある</H4>
27 本文
28 </p>
29 <table class="hyou1" align="center" border="1" cellspacing="0" cellpadding="0">
30 <caption>表のタイトル</caption>
31 <tr><td>1 行 1 列</td><td>1 行 2 列</td><td>1 行 3 列</td></tr>
32 <tr><td>2 行 1 列</td><td>2 行 2 列</td><td>2 行 3 列</td></tr>
```

保存するときは、ウィンドウの右上の「Save to Drive」を押す



「Editey」はプレビューが表示できる。保存するときはFileの「Save now!」を選ぶ



■4ページ目に JavaScript を使ったページを作る

あらかじめ用意してある4ページ目のファイルを開く。最初の状態では「1000-4.js」ファイルを読み込ませているので、確認後、他のサンプルを読み込ませて、どのように動かか確認するして、オリジナルのプログラムを自分で作る。

ファイル名は HTML ファイルが[HRNO]-4.htm、CSS ファイルが[HRNO]-4.css 、JavaScript ファイルが[HRNO]-4.js として、JavaScriptファイルはJsフォルダに入れる

【サンプル】

1100-4.htm

```
001 <!DOCTYPE html>
002 <html>
003   <head>
004     <meta charset="utf-8">
005     <title>1100-4</title>
006   </head>
007   <body>
008     <div align="center">
009       <table>
010         <tr>
011           <td><a href="1138-4.htm"><前へ</a></td>
012           <td><a href="11.htm">11HR</a></td>
013           <td><a href="1101-4.htm">次へ</a></td>
014         </tr>
015         <tr><td colspan="3"><a href="1100.htm">[TOP]</a>
016         <a href="1100-2.htm">[趣味]</a>
017         <a href="1100-3.htm">[進路]</a>
018         <a href="1100-4.htm">[Js]</a></td>
019       </tr></table>
020       <br>
021       <h2>1100 oooo</h2>
022       <p><h4>プログラムのタイトル</h4></p>
023       <div id="hyouji"><!--ここに文字を表示させる --></div>
024     </div>
025     <script type="text/javascript" src="js/1000-41.js"></script>
026   </body>
027 </html>
```

読み込む Js ファイルを指定する

■文字を表示させる

1000-41.js を読み込ませると、初めにメッセージボックスに「Hello World!①」と出てくる。OK ボタンを押すと、続きに Hello World ! ②と表示され、次に<div id="hyouji">～</div>の中に<p>Hello World!③</p>が挿入された状態になって、表示される。

1000-41.js

```
001 alert("Hello World !①");
002 document.write("Hello World!②");
003 let element = document.getElementById('hyouji');
004 element.innerHTML = '<p>Hello World!③</p>';
```

■繰り返し、分岐

1000-42.js を読み込ませると、初めにメッセージボックスに「Hello World!①」と出てくる。OK ボタンを押すと、続きに Hello World ! ②が5回繰り返されて表示され、次に<div id="hyouji">～</div>の中に、現在の時刻が12より小さかったら「<p>Hello World! ③
午前です</p>」が挿入され、そうでなかったら「<p>Hello World! ③
午後です</p>」が挿入される。

1000-42.js

```
001 alert("Hello World ! ①");
002
003 /* 繰り返し 5回繰り返す */
004 let i;
005 for(i=1; i<=5; i=i+1){
006     document.write("Hello World! ②<br>");
007 }
008
009 /* 分岐 午前午後で背景色と表示する文字を変える */
010 let today = new Date();
011 let h=today.getHours();
012 let element = document.getElementById('hyouji');
013
014 if (h<12){
015     document.bgColor="#FFFFCC";
016     element.innerHTML = '<p>Hello World! ③<br>午前です</p>';
017 }
018 else {
019     document.bgColor="#FFCCCC";
020     element.innerHTML = '<p>Hello World! ③<br>午後です</p>';
021 }
```


【課題⑧】 図4－2 のように、1から40までの数字のうち、3の倍数と3がつく数字の時に画像が表示されるようにしなさい。できた人は、桂三度(世界のナベアツ)のネタを参考にして、この内容に合わせた別の画像ファイルを用意して表示させなさい。なお、自分で用意した画像のファイル名は world.png ではなく[HRNO]-4.png とし、画像が複数ある場合は[HRNO]-4-[連番].png と4の後に「-」と連番を入れなさい。40数えた後の一言は、文字で入れるか、別の画像を表示させなさい。

【課題⑨】 役に立つプログラム、面白いプログラムを作りなさい。このプログラムは3学期に発表するプログラムとして使ってもよい。ファイル名はHTML ファイルが[HRNO]-4.htm、Js ファイルが[HRNO]-4.js として、Js ファイルは Js フォルダの中に入れること。

【+α】 他のページへのリンクを貼る文字の代わりにボタンを表示させなさい。

ボタンはタグで表示できるが、自分でボタンの画像を作りたい場合は、クラスへのボタンは[HRNO]-btu.jpg、前へのボタンは[HRNO]-btb.jpg、次へのボタンは[HRNO]-btn.jpg、1ページ目へのリンクのボタンは、ファイル名を[HRNO]-bt1.png、2ページ目へのリンクのボタンは [HRNO]-bt2.png と、[HRNO]-bt[ページ]としなさい。